

通りゃんせ

通りゃんせ

通りゃんせ

ここはどこの

細道じゃ



これが夢なのは

自分でも

分かってる

だって

夢じゃなければ招き福

こんな気持ち悪いところに

一人で来るはず

ないもの



この先に何があるのか
確かめたい

なぜか

その気持だけが
一人歩きしている

夢だと
分かっていても

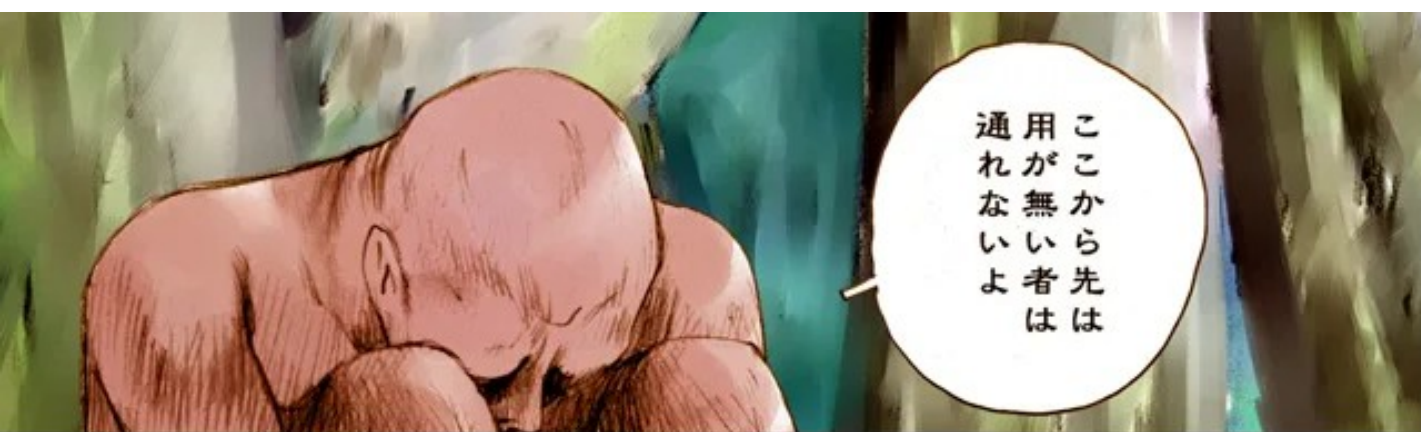
なんだか
怖くてたまらない



あっ



だ
誰？



ここから先は
用が無い者は
通れないよ



用は……
その……
はつきり
分からないん
だけど……

でも
どうしても私
この先に
行かないの
いけないの



そうか
では
服を脱いで
通りな

えっ!?



しかし
女の子しか
通れないぞ

見たら
わかるでしょ
女の子よ



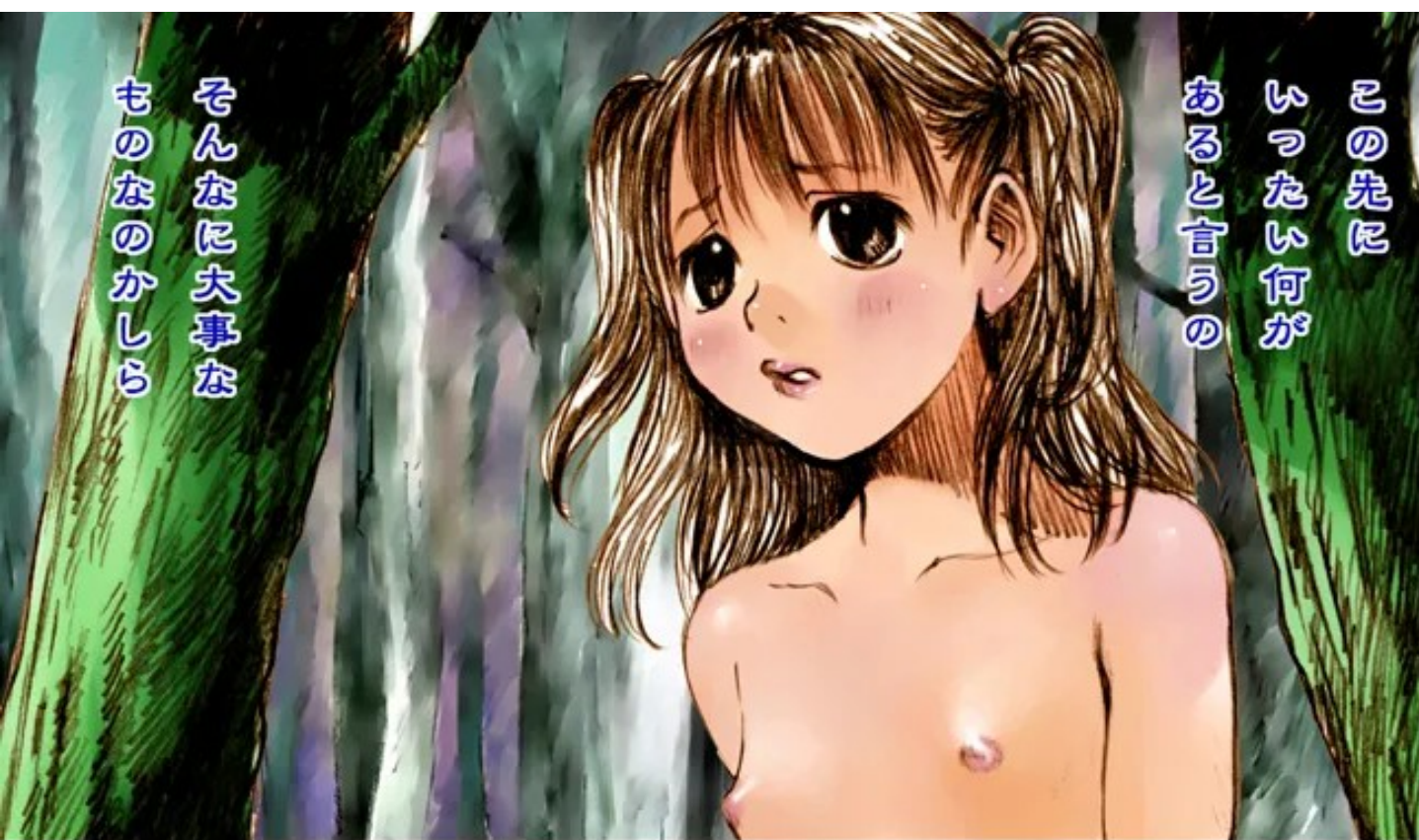
決まり
だからな

いやなら
通れないよ

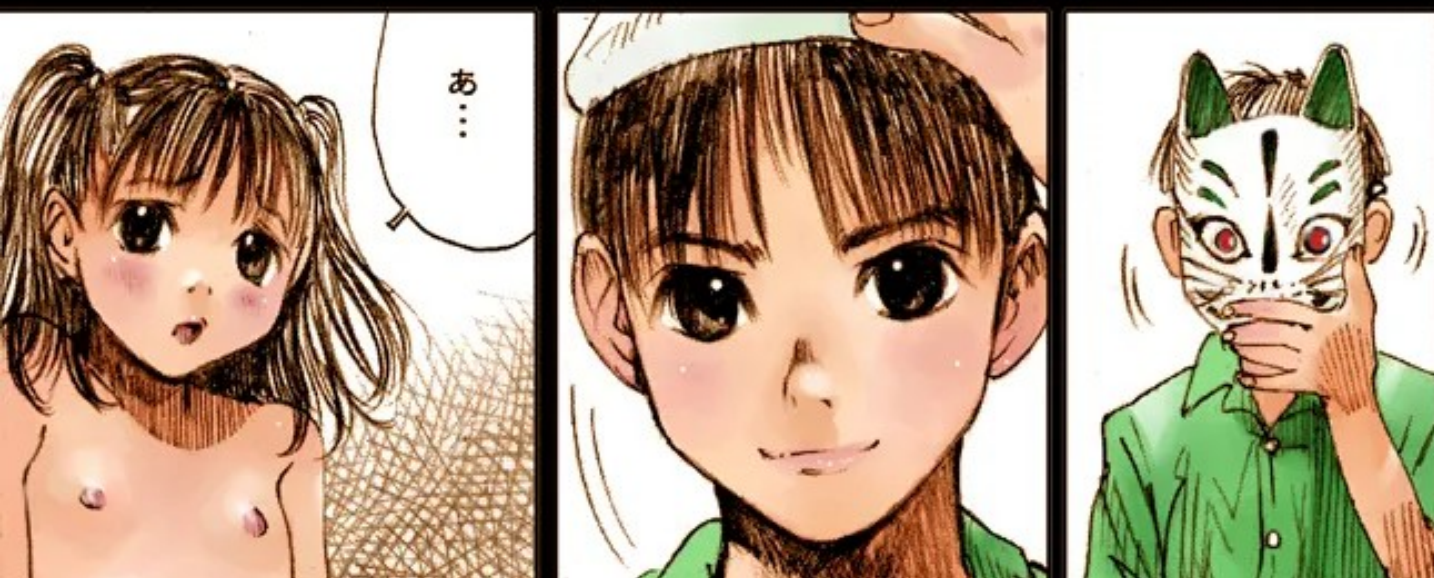
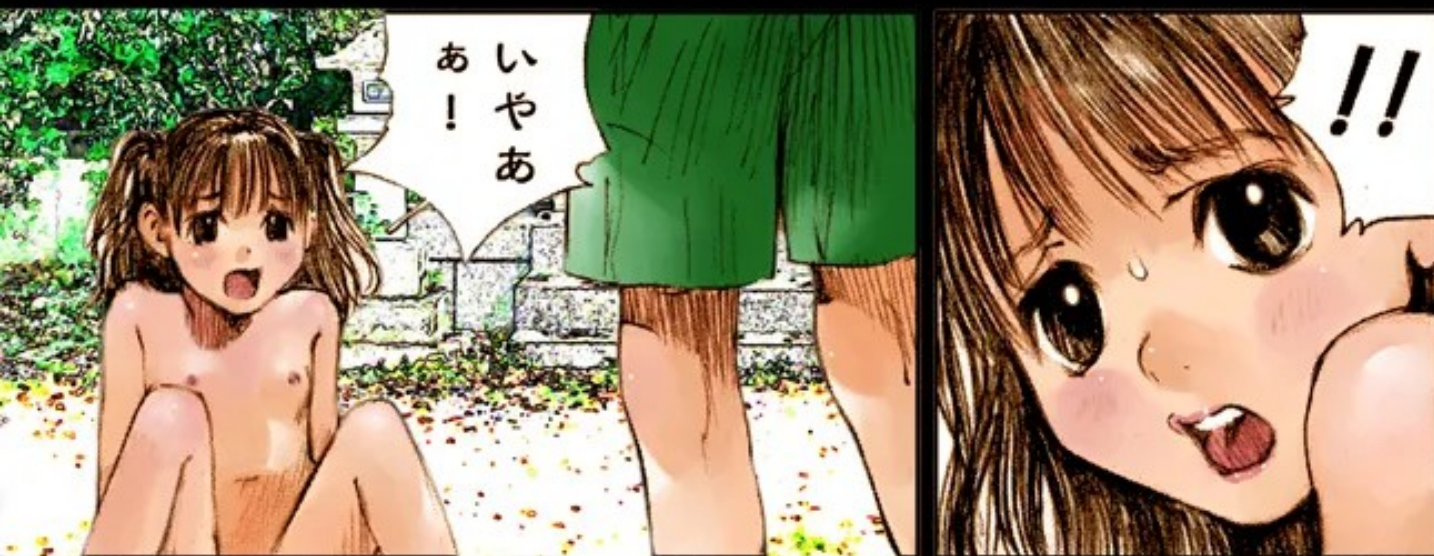


……















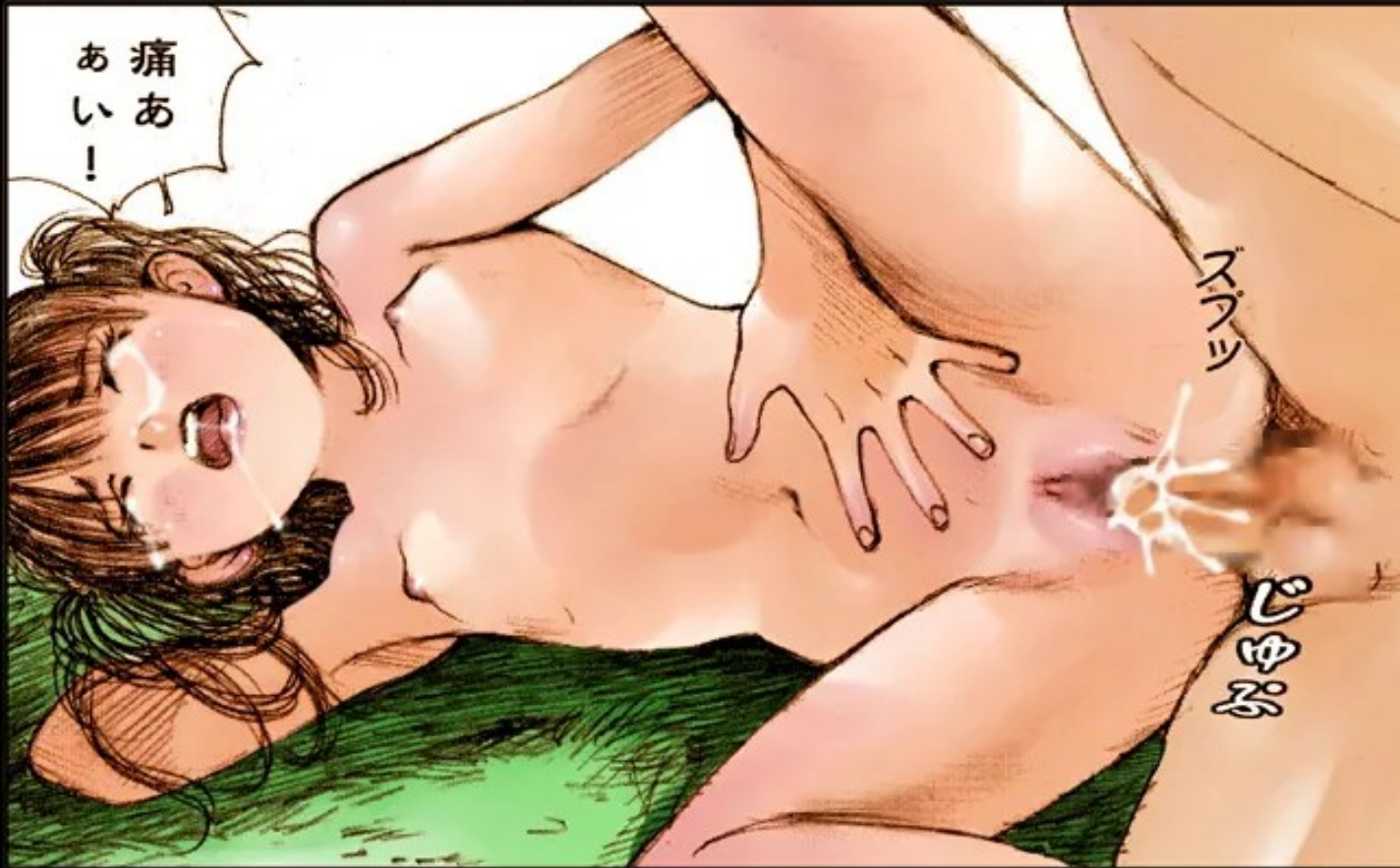




いっ
っ
痛っ！



ずんずん



あ
あ
痛
い
！

ス
ズ
シ

じ
ゅ
ぶ



あ
う
う
！

ジ
ン
パ
ッ









とつても
怖い夢でした



目が覚めてからも
ずっと
泣いてました



うくっ

うくっ



でも
そんな私を見て
お母さんは

なぜだか
とても優しく
微笑んでいました

END

あれ？

あ……

夢の報酬

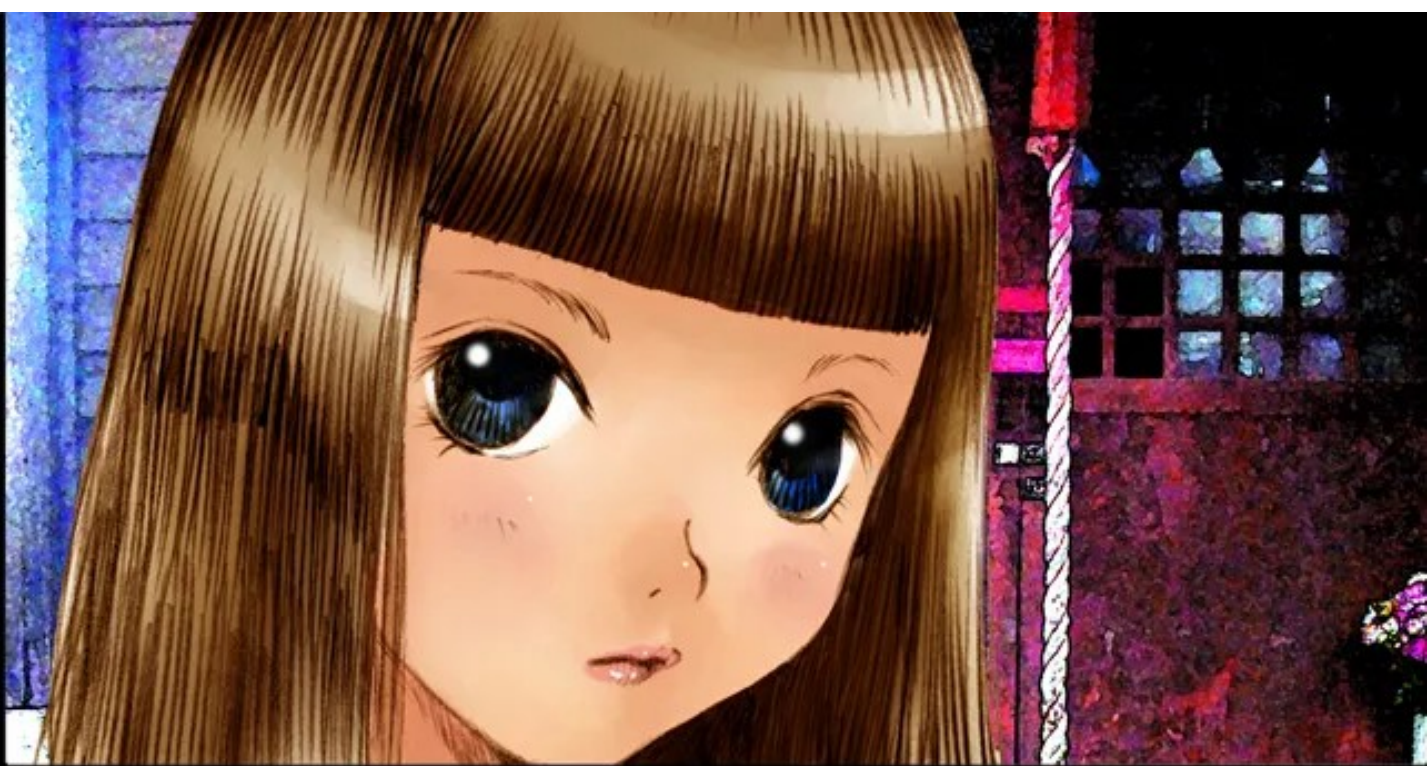
あっ！

神社が

山奥に
こんな

こんな所
に人が住
んでる
とは思
えない

ん？





えっ…
ずっと
って…？

ずっと一人で
ここに
いたの…

寂しかった
わ…

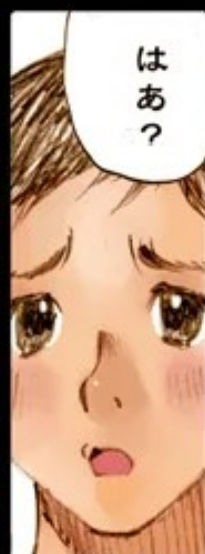


しかし何故か
ここえらく
冷えるなあ



ええっ？

家出でも
して来たの
かい？



はあ？



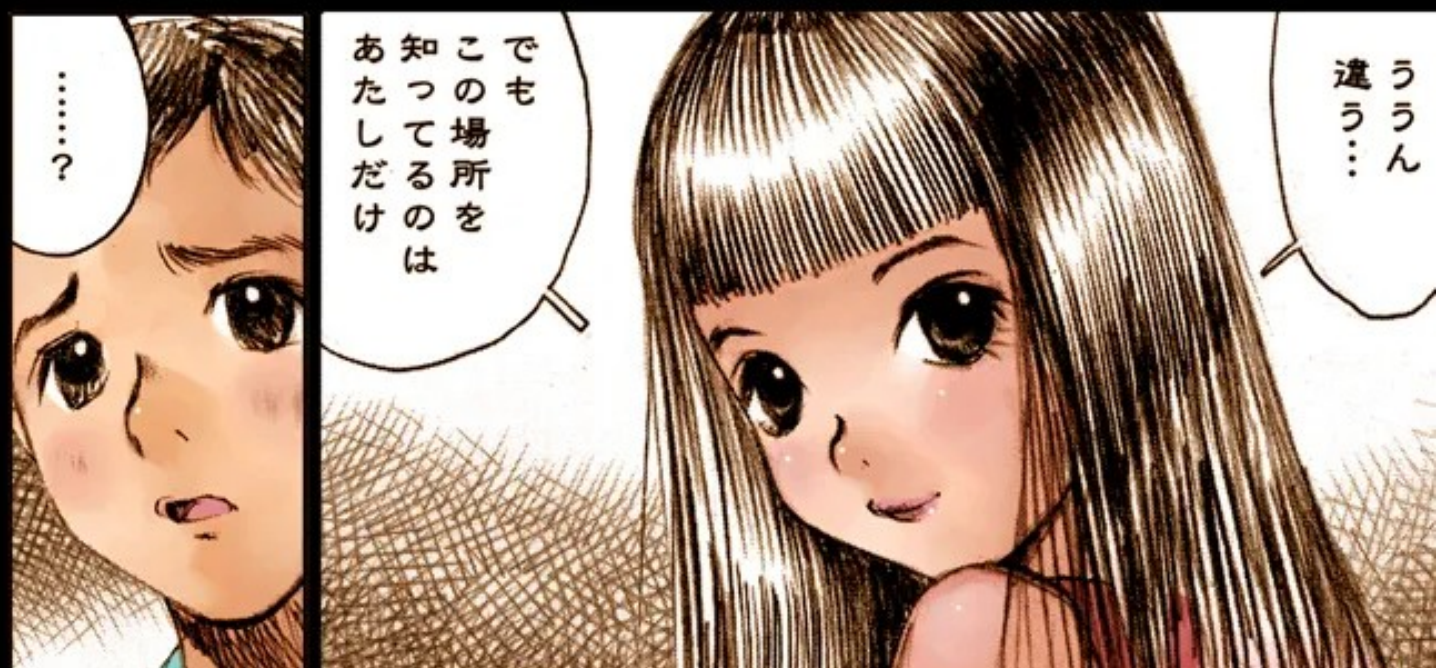
あなたを
待ってたの
ここで
ずっと…



キミ
そんな
格好で
大丈夫？

寒いのが？

この先の
小屋の中なら
暖かいよ



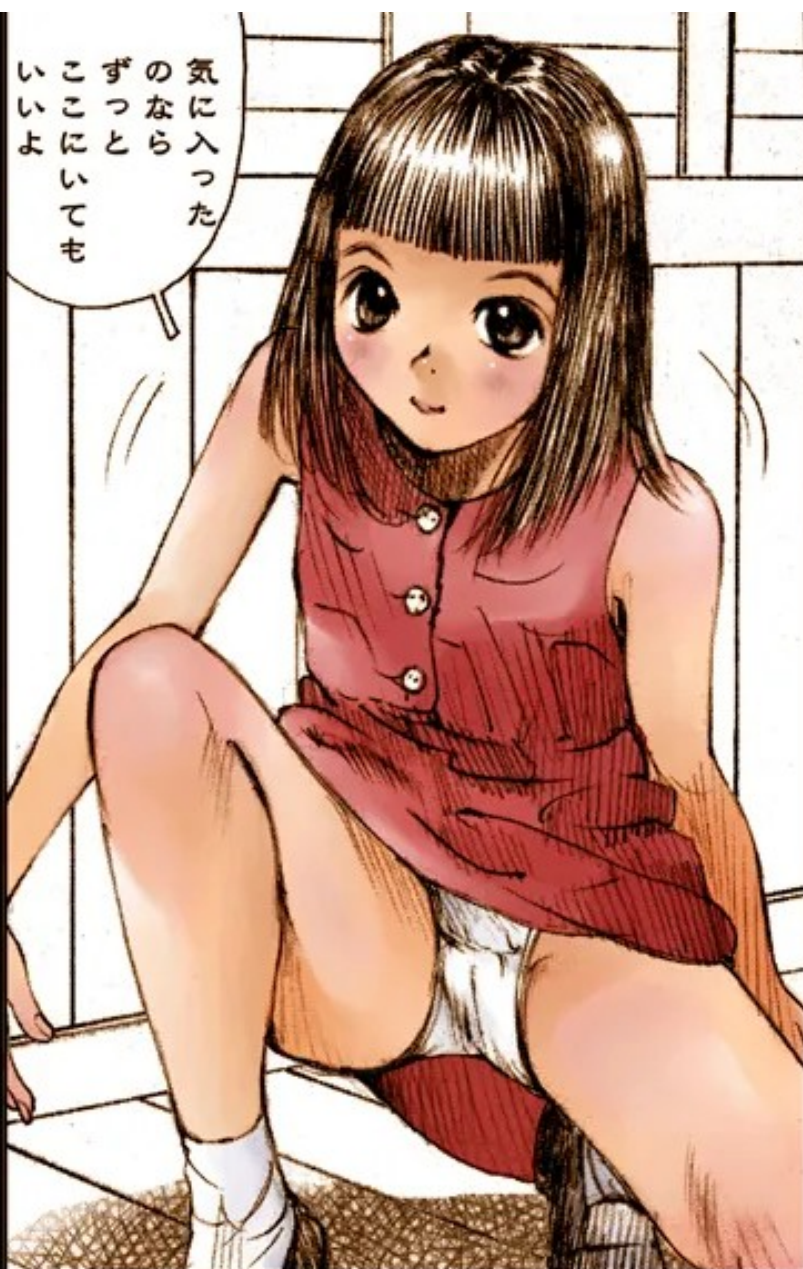


あっ！

どわっ



ふふ



気に入った
のなら
ずっと
ここにいても
いいよ

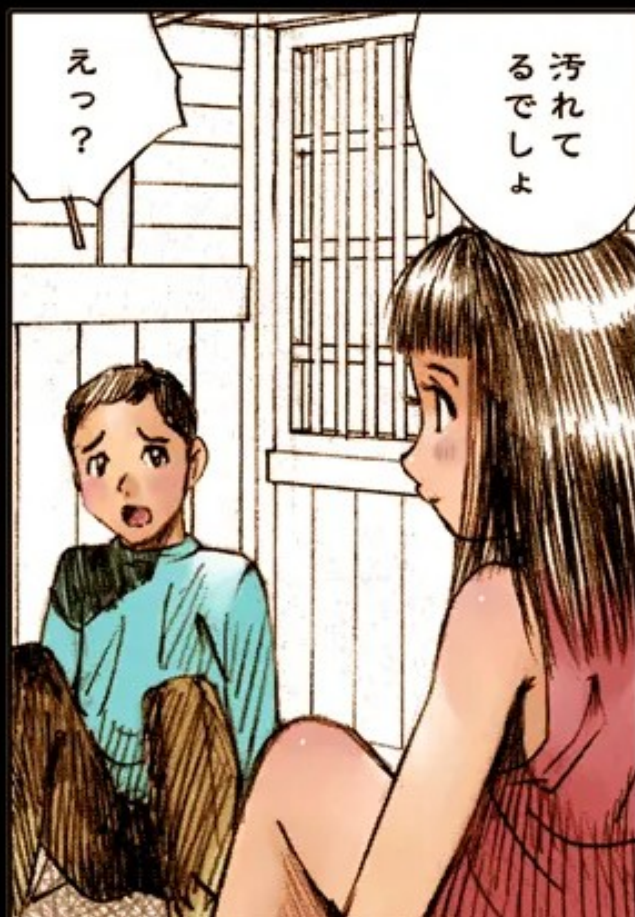


下着の
替えを持って
ないから



あ…そ
う…

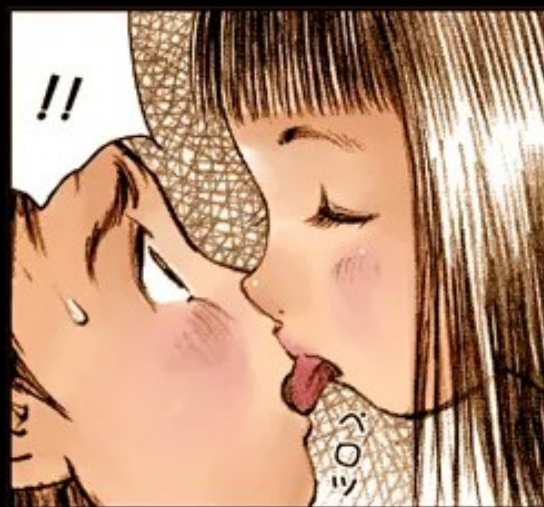
着替えを
持って来たら
良かったね



汚れて
るでしょ

えっ？







チロツ



うわあ
あったかい



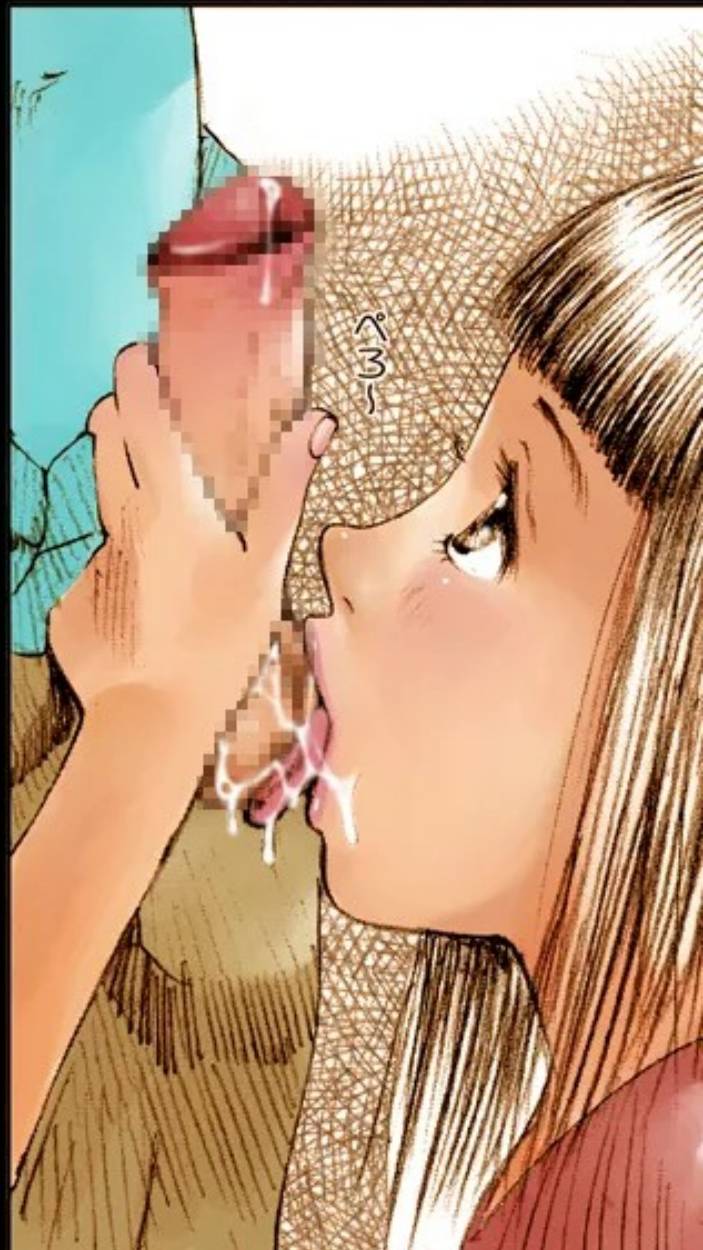
ああ
ああ...



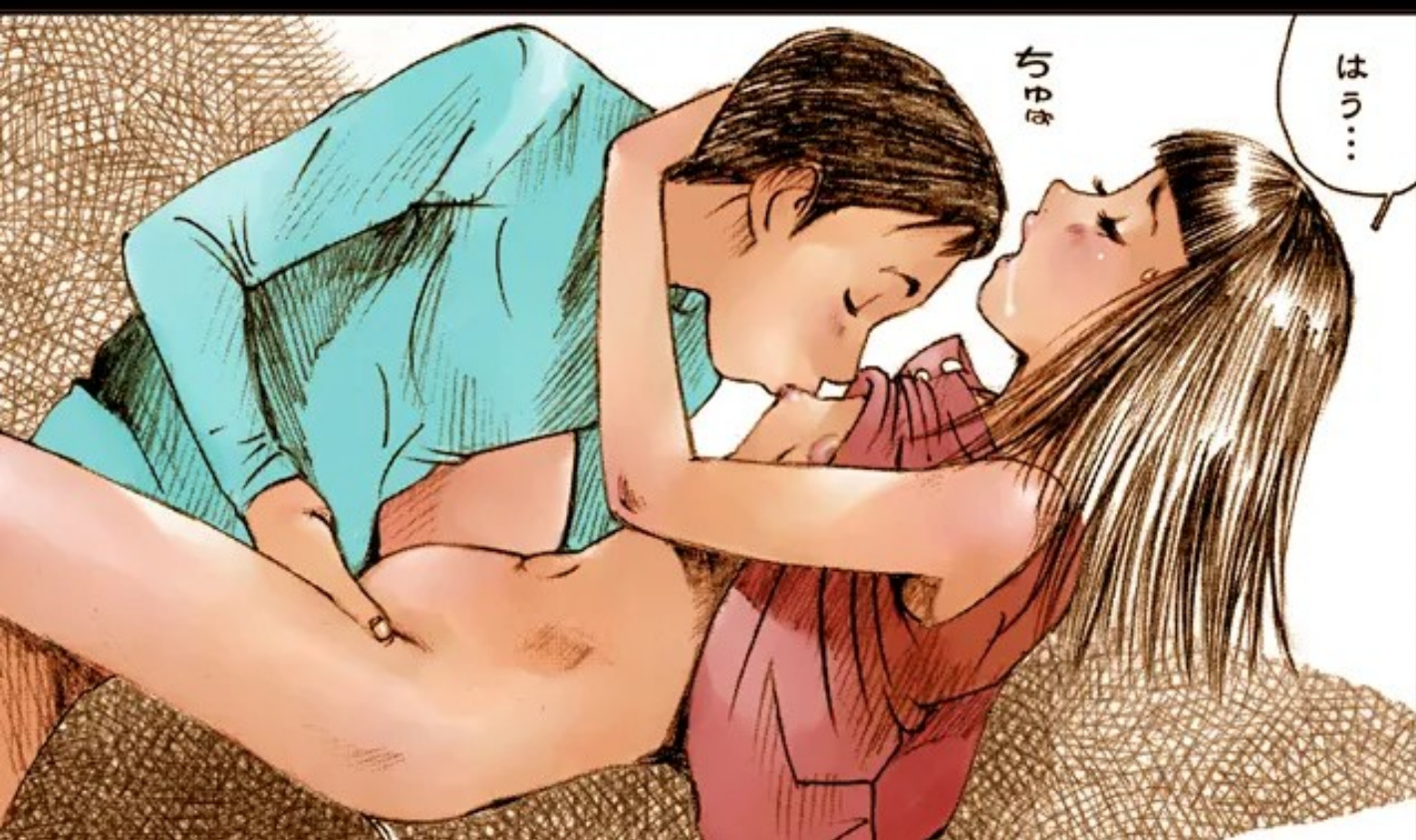
ちろちろ

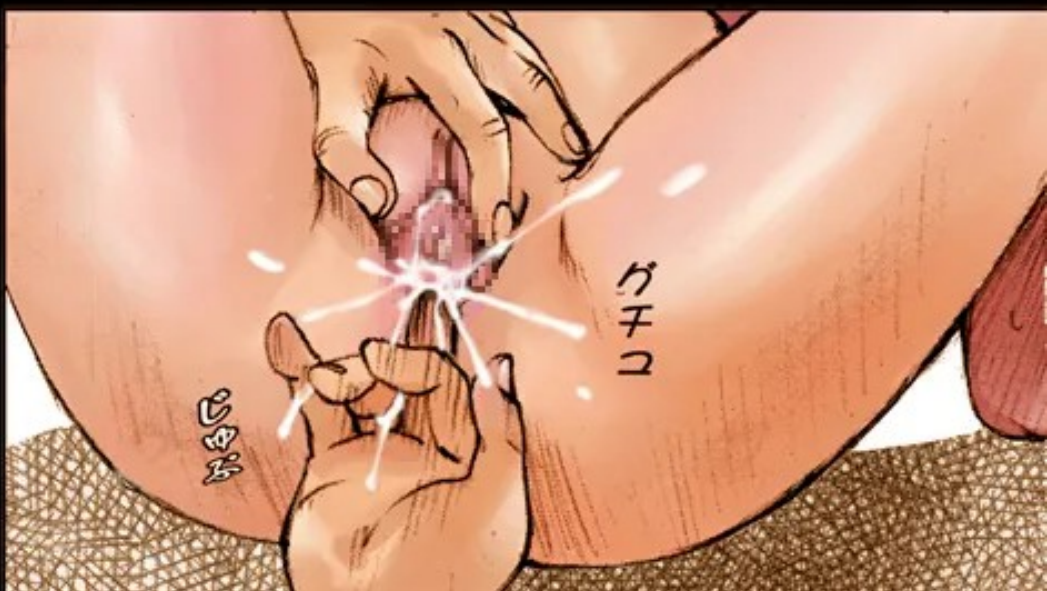
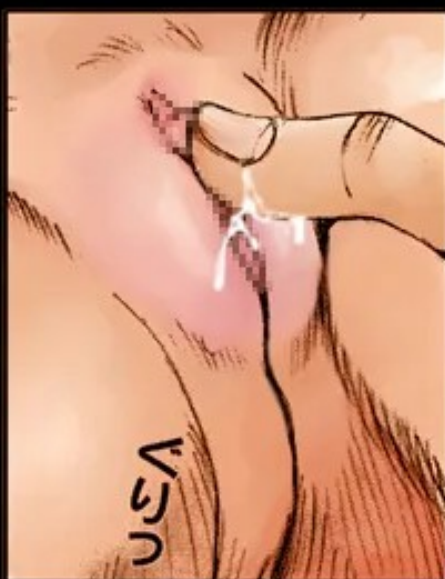
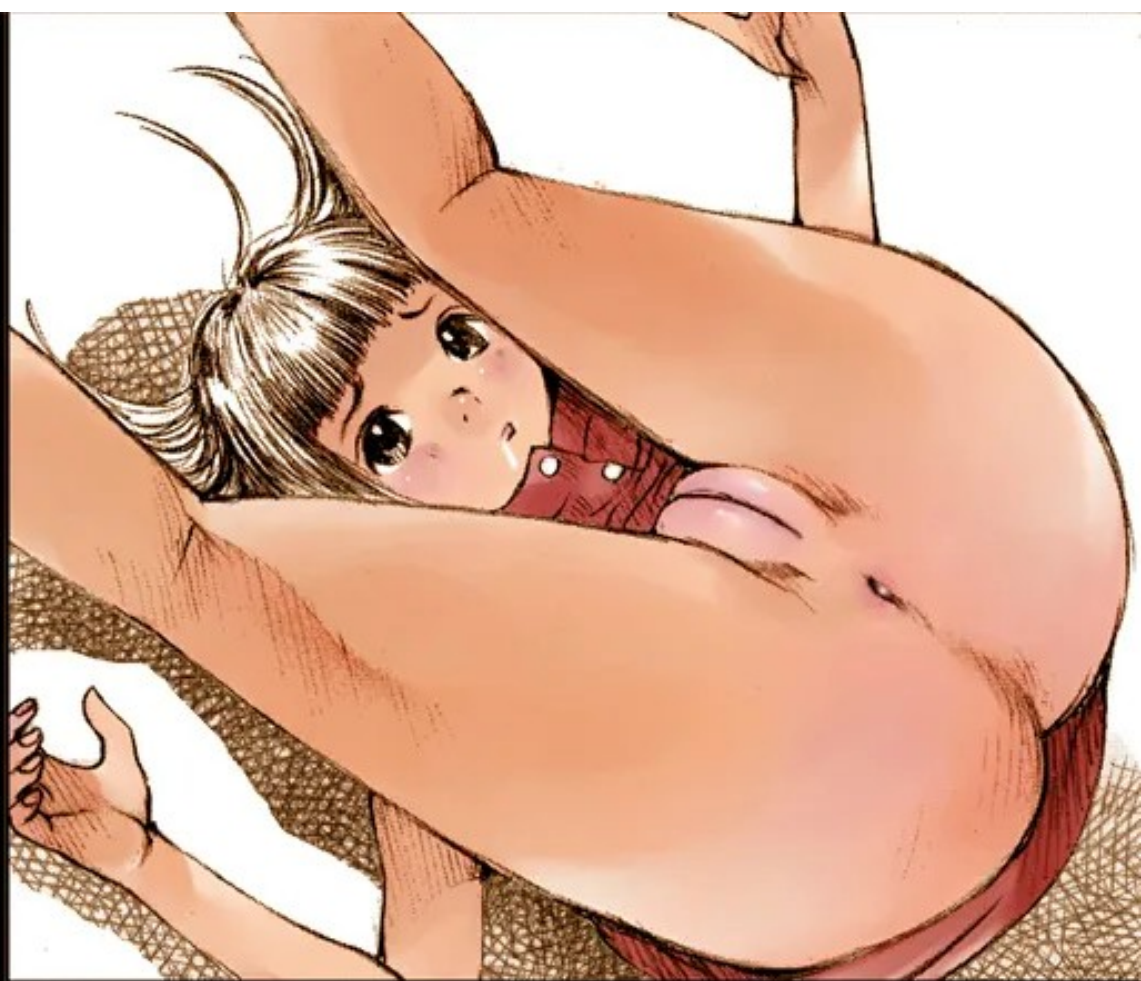


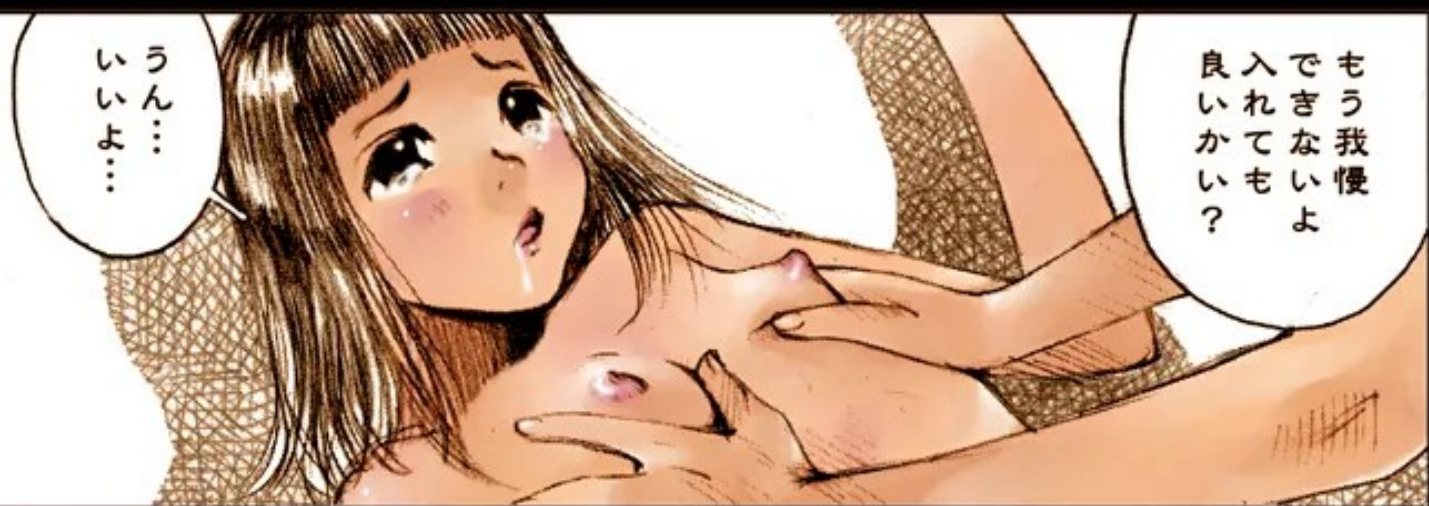
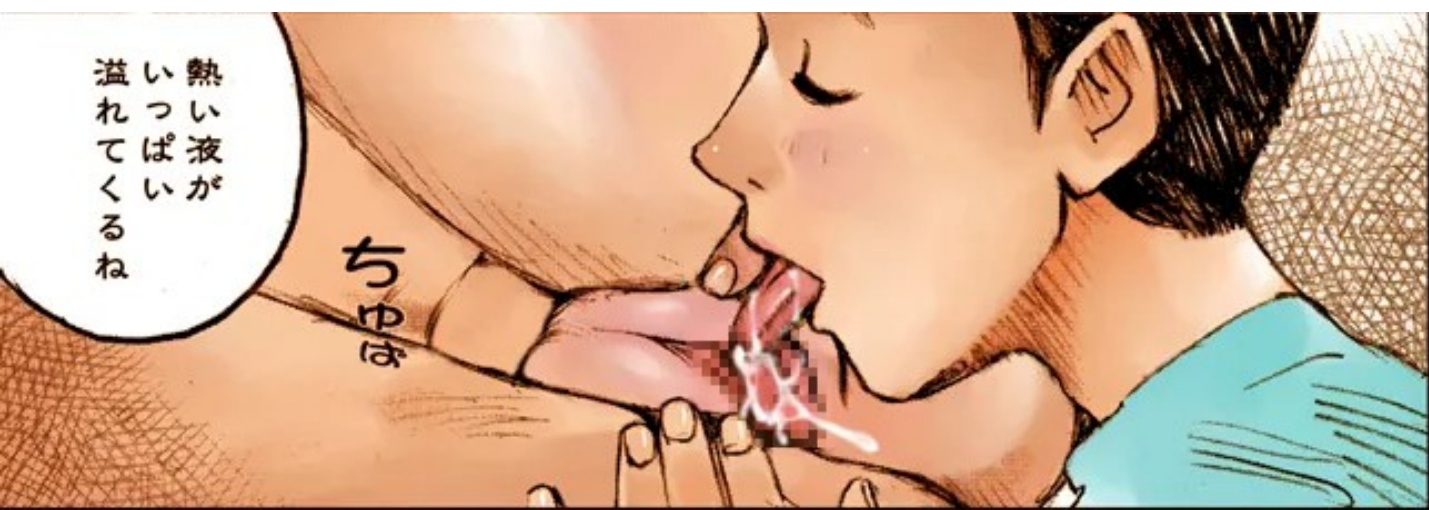
ちろちろ



くわー













いやああ



いい
いい...

スフッ

グハッ



グハッ



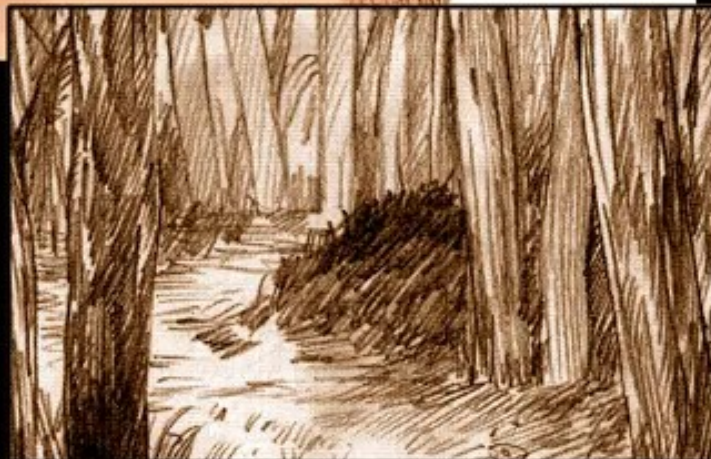
い...
イク!

はあ
はあ

で
出るう!

あふ
あふ

ドブ



あの

ここら辺に
神社があつた
はずなん
ですが…

神社？

そんなもん
今はないぞ

わしが
娘の頃は
あつたん
だがね

もう
七〇年も
前の話じゃ

えっ…？

それよりも
早くここから
立ち去つた
方がいいぞ

え
どうして
ですか？

お兄さんみたいな
若い男は
よく騙されると
聞くからの

ほんじゃ

気を付けな
されよ

あつ

あの
騙され
るって
誰に？

あなたを
待ってたの

ずっと
ここで…

女狐じゃよ

女狐…

END

今から
考えてみると

あれは
真夏の夢
だったの
だらうか――

誰も

住んでいないと

思っていた

村外れの

あばら屋……

STARLESS

～暗黒の章～

その薄暗い闇の中に

彼女はいた――





あ…

おまえ
そこの
何して
んだ？



ここは
私の
家だよ



なあ
いつか
ここに
居るんだ



……



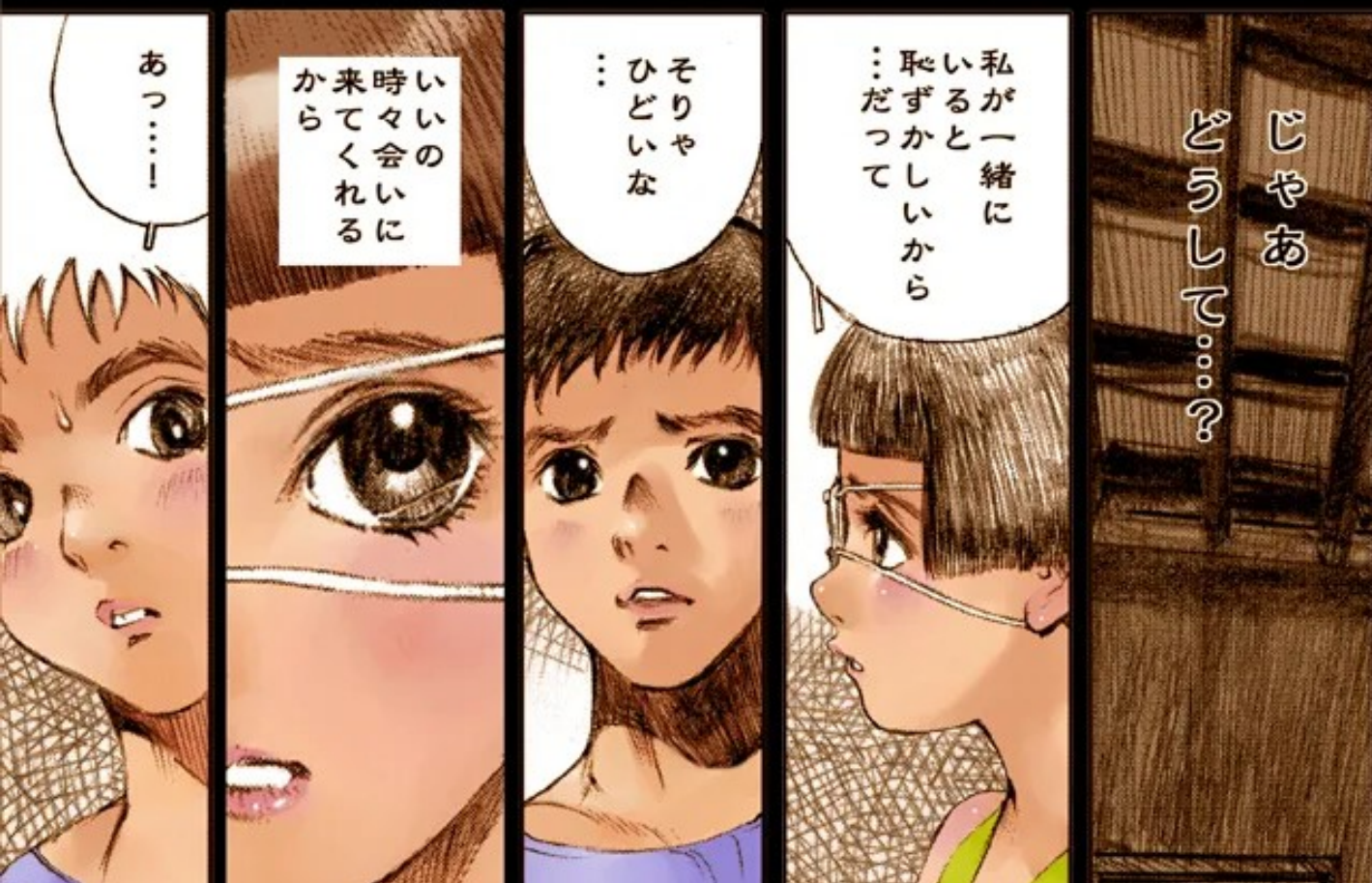
え…？
ここに一人で
住んでる
のか？

うん…
一人…



家族は
いないのか？

…
いるよ…



じゃあ

どうして…？

私が一緒に
いると
恥ずかしいから
…だつて

そりゃ
ひどいな
…

いいの
会える
から
来てる

あつ…！

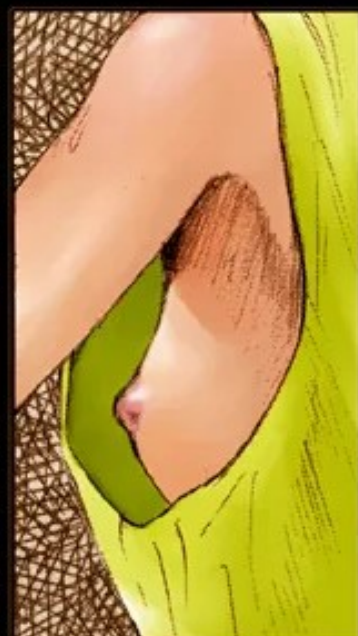
パ
ン
ツ
履
い
て
無
い
！



ど
き
ど
き

あ
な
た
も
…

私
の
こ
と
い
じ
め
に
来
た
の
…
？







柔らかい
舌が
絡み付いて
気持ちいい...

ぐぽ



ジュルン...



きつとも
人になら
れ
何やぶさ
るなれ

しにか
いっし
な妙に
上



うわあ
なんだあ！



ピ
ン
ポ
ー
ッ



ピ
ン
ポ
ー
ッ

て
っ
て
っ
て
っ



ピ
ー
ッ



ご
は
ん
だ
よ

はい
お
姉
ち
ゃ
ん



...





もったい
ね

もう
出ちやったよ



ゲホ

ゲホ



とろろ



ピーッ



あ……
ちよつと
待てよ
おい!



私
帰る
ね



こんなとこに
おまえを
ほっぽつとく
親だもん

……まあ
いいか



あいつ
親に告げ
ろ
しない
だらうな

……



ここ自分で
広げて見せて
みるよ



まだ結構
綺麗だな









あの娘の
姿は
無かった

その後
何度か
ここに
来てみたが



お姉ちゃんなら
もういないよ



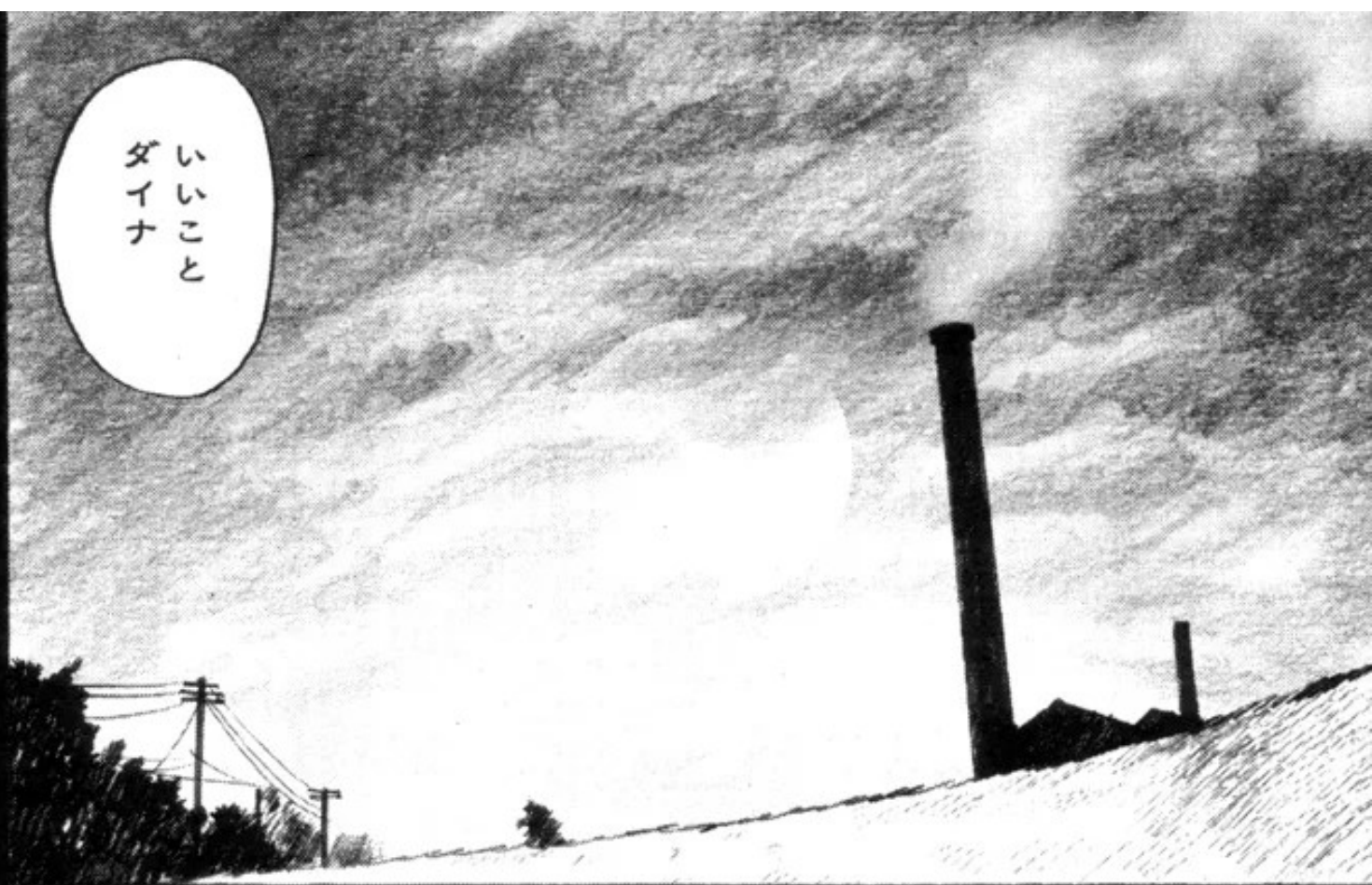


BLACK
alice in wonderland 5

黃昏町奇譚



いいこと
ダイナ



昨日のことは
お母様たちには
絶対に内緒よ

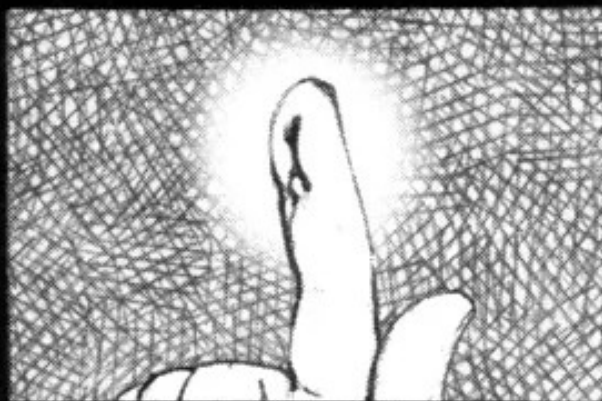


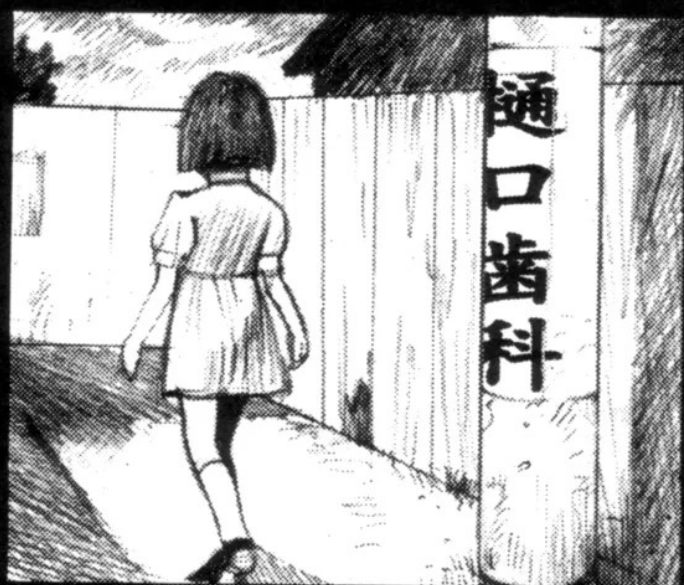
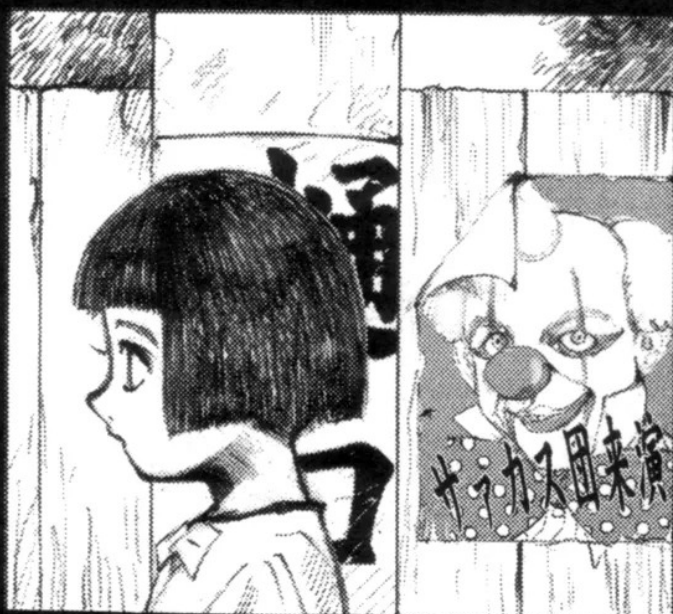
何だかちよっと
むずがゆいのが
気になって
触っていた
だけだからね

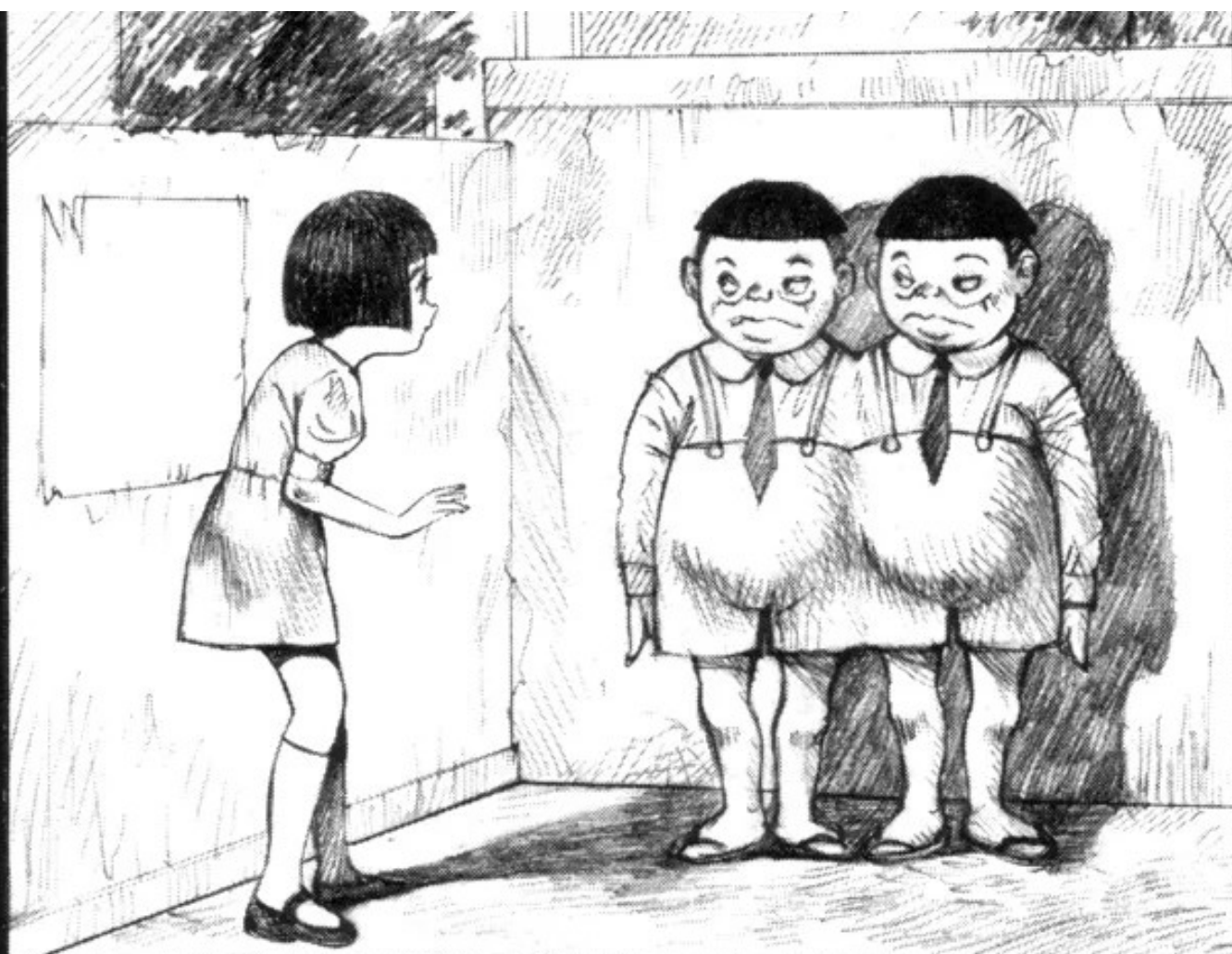


おまえだって
体がかゆくて
よくペロペロ
舐めてるでしょ









ボクは今キミが
考えている
ことを
知ってるぞ

でもボクが
知ってることを
今キミが考えてると
思うなよ



あ・あの…

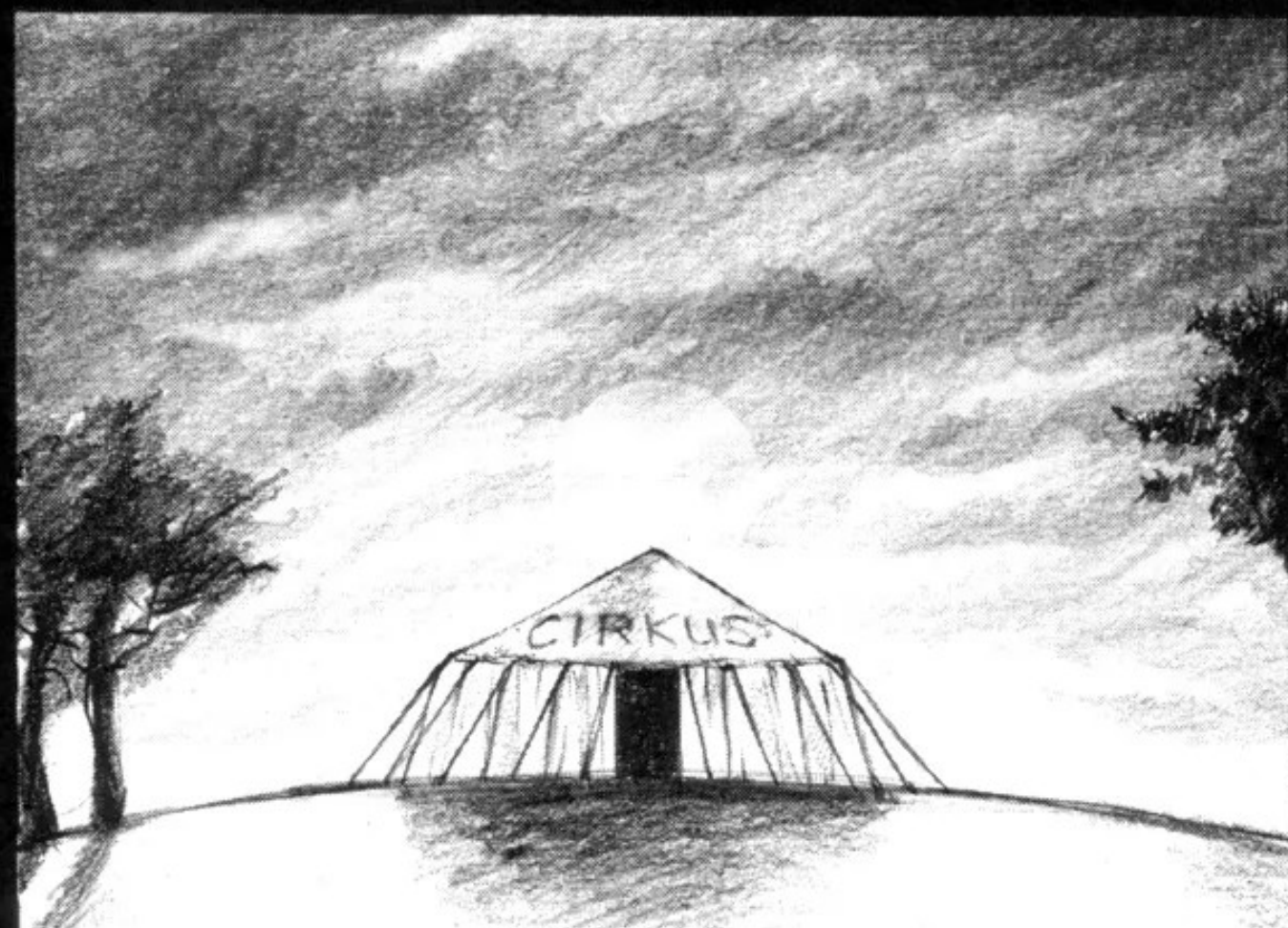
あなたたち
猫を
見なかった？

あははは
あなたたち
だって

ボクを
二人だと
思ってるぞ

キチガイねずみ キチガイねずみ
 たくさんたくさん キチガイねずみ
 沼のほとりで大騒ぎ
 腹が減ったと大騒ぎ
 そこにいらしたお嬢さん
 とてもきれいな嬢さん
 「どうかしたの？」と聞いたのさ
 「腹が減った」とキチガイねずみ
 言う間もなく飛びかかる
 嬢は怯えて叫びをあげるが
 嬢はみるみる刻まれた
 意識のあるまま刻まれた
 自分が減るのが目に見えた
 おじょうさん おじょうさん
 今はもういない
 なぜかって？
 刻んで シチューに入れたから。









何だ
おまえは



まだ
開演して
ないぞ



私
猫を探しに
来たの



ああ
それなら
奥の部屋に
いるんじゃないか



どうも
ありがとう



やっぱり
猫のことは
ネズミに聞くのが
一番ね



ここ
かしら？



きっと…

団長が…

あの…
どうして
あなた
裸んぼなの？

ネズミが
いつも私の
臍を舐めたいて
言うし…

団長に
おしっこ
飲ませなきゃ
いけないから

ひどいわ！
そんなの
断れば
いいのに！



……



だって…
私…
みんなの事
好きだから…

どうして…？



でも
あなたは…

すぐに
ここから
出て行った方が
いいよ…





食べて
みたら
分かるよ

ダイナ
は…?





次の
シチューは
少女だ！

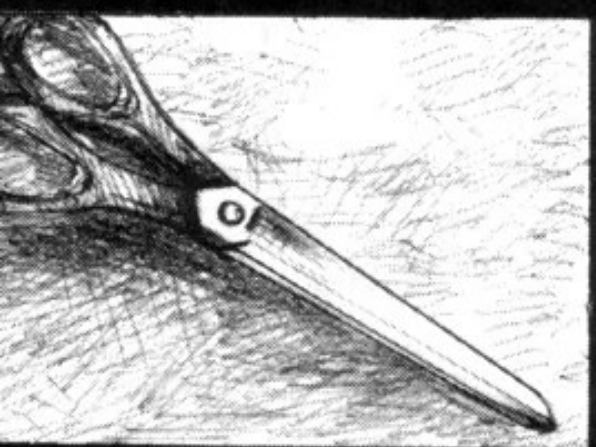


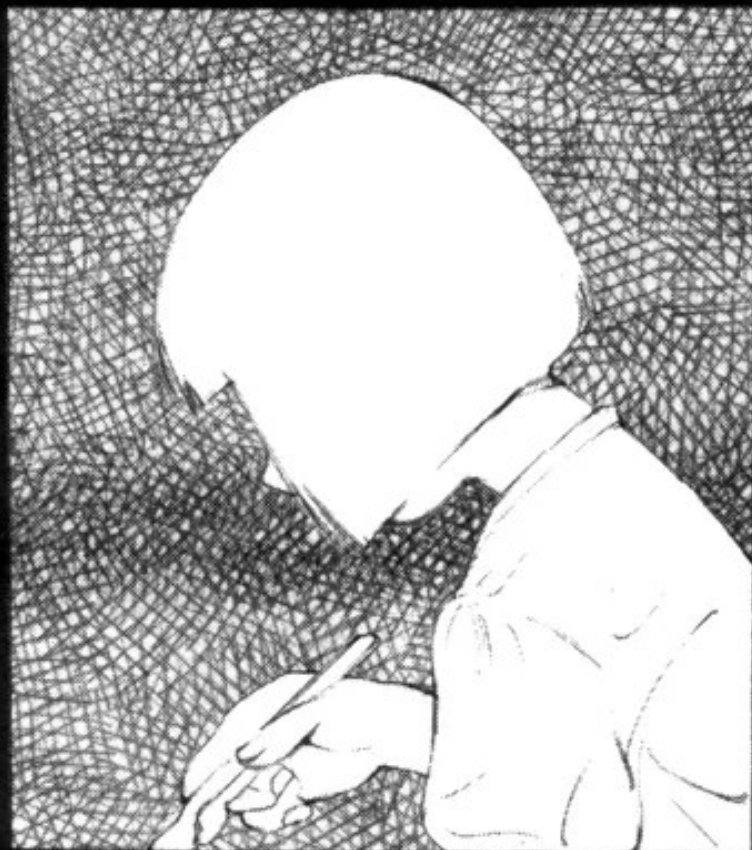
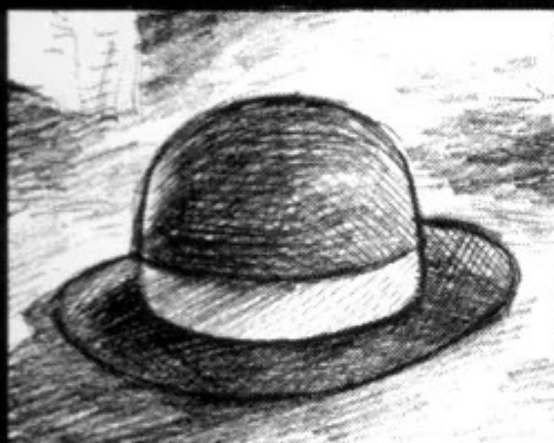
この間食べた
少女の目玉の
シチューは
美味しかったな



な
何するの！







黒のアリス第五章
黄昏町奇譚
完